



Popoki's Hot News!

24日正午！みんなでお祈り！



みんなでお祈り！哲学者の内山節さんが24日の正午に、震災で亡くなった方々の冥福を祈ることを提案しています。ポーポキは、人々に加えて、動物たちや他の生き物のためにも祈りをささげたい。四十九日直前の日曜日。イースターでもあります。どんな形でも方法でも良い。どなたでもできることです。

「一言の平和」コーナー



ポーポキのお友だちのおこめさんから届いた平和：「仕事帰り、鳥の鳴き声。鳴き声の主はウグイス！！心が弾む。何事も無い一日。こういうのが平和なのかな。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。ポーポキのメール

popokipeace@gmail.com ^！

「ポーポキ友情物語」プロジェクト開始！！



長～い布でみんなをつなごう！ポーポキは、みんなの力や思いをつなぐことで被災地のみなさんを支援しはじめました。布は神戸から始まり、宮城県に行き、現在は神戸に戻っています。もうすぐ岩手県へ。あなたも描いてみませんか？（本号7頁を参照）



ポーポキ・ピース・プロジェクト Popoki Peace Project

被災した動物を応援しよう！

下記のサイトをご参照！

<http://www.facebook.com/AnimalRescueJapan> (Facebook)

<http://tohoku-arc.com/index.html> (日本語)



ポー会いちご狩り！！

文・多田茉莉絵
写真・永重史郎



4月16日、土曜日の晴れた日に私たちはポーポキと一緒にいちご狩りに行きました。

けんじいさんのお知り合いの、いちご農家「いなみ野いちご畑」へお邪魔をしました。いちご畑に着くと、ビニールハウスの中には数え切れないほどのたくさんのいちごがあり、どれもきれいな色をしていました。

私たちがいただいたいちごは二種類あり、それぞれ「明宝(めいほう)」「章姫(あきひめ)」といい、明宝はもう市場には出回っていない品種です。

紙コップとはさみをいただいて、いざいちご狩りへ。みんな紙コップに収まりきらないくらいたくさんのいちごを取り、軽く洗って口の中へ。「あまーい!!」その後も何回もいちごを取りおなかいっぱいになるまで食べてしまいました。今回初めて会う友達も多かったのですが、みんなで仲よく楽しい時間を過ごすことができました。



<http://popoki.cruisejapan.com>
[popokipeace \(at\) gmail \(dot\) com](mailto:popokipeace@gmail.com)

What's Happiness ?



*Be it one strawberry
or a hundred,*

*happiness can be
achieved,
attained, and realized.*



写真、編集: 永重史郎さん



ポーポキの被災地支援インタビュー その1

*今回はポーポキがさとこ&ロニーをインタビューします

ポーポキ(以下「ぽ」): さとこもロニーも仙台市若林区に行きましたね。第一印象はなに色でしたか？

さとこ(以下「S」): 灰色。音なし。冷たい。

ロニー(以下「R」): 場所によるけど、全体的には私もとても濃い灰色。津波が持ってきた砂&泥。そして、重たい色。でも、荒浜のがれきの中で水仙を発見した時、色があざやかな黄色に変わった。そこにアリもいた。



ぽ: 音は？

R: 音。私も音がない。そして、それは癒してくれるような沈黙ではない。海を見た時は不思議に静かだった。風の音はあるはずだったけど。声…。いろいろな人が海を見ながら不思議そうに「海はあまりにも普通…。足跡もないし、ゴミもない。いつもよりきれい」と言っていた。

S: 私が若林区を見た時、平日だったのに誰もいなかったし、車も走っていない。お店もあいていない。お日様が当たって明るい。でも、生活感はまったくなかった。

ぽ: ロニーは4月9日-12日に行っていたけれど、さとこはもっと早かったよね。

S: そう。はじめ若林区に行って、あとは主に岩手県(釜石、大槌町)だったけど、3月17日から23日だったね。3週間も違う。

R: 風に春のにおいはいしていたけど、さとこの時は？

S: まだまだ冬だった。地面が凍結するのがこわかった。すべるからね。それと、雪と霧で視界がすごくわるくなっていた。電気もなく、道がわれているのに見えないとか、段差があるとか。全然わからない状態だった。

R: そういえば、私たちはバスで行ったけど、仙台市に入る前ぐらいから霧がすごくて、全然見えない状態だった。



ぽ: ねこはいましたか？

S: いなかったね。

ぽ: ねこの話とか、話題とか、動物に関するなにかはありましたか。

S: なにもなかった。

R: 最初に行った避難所に犬はいましたね。一匹は小さなオリに入っていて、「猛犬～注意」と描かれていた。あと2匹は普通につないであって、私たちが子どもと外で遊んでいる間中、ワンワン鳴いた。一緒に遊びたがっていた。

S: そういえば、牛もヤギも見た。にわとりさんも。どこだったかな。大槌町の山奥だったかもしれないね。



R: 実はね、「ポーポキ友情物語」という活動をしていたの。長い布にぽーちゃんの絵を描いてから、みんなに少しずつ描いてもらって、みんなをつなごうという活動です。神戸大学の院生が最初に描いて、それから若林区の避難所の人。避難所で最初に描いてくれたのは高校生の女の子。可愛いねこを四匹。でも、その猫たちは皆、津波にさらわれてもういない。多くのペットがなくなったのね。

ぽ: 布に描いて、悲しくならなかったか？

R: いや、描いてよかったと言っていたね。そして、一年後にでもまた仙台に来て布を展示したら、自分のねこを探すのが楽しみ。そ

こでいつでも会えるのね。

ぽ: なにか特に印象に残った話はある？

S: 今、気がついたの。私は医療支援のために行っていたのね。時期も早かったけど、私たちは目の前のことでとてもいっぱいだった。患者さんがいっぱい並んでいて、彼らのケアをしなければならなかった。ゆっくり話は聞いてあげたかったのに。いろいろなストーリーはあったし、たくさんのは話は聞いた。でも、それらを気にする自分個人として聞いていたよりはまず、薬剤師として聞く必要はあった。

R: 役割があって、役に立つことができ、信頼されて、とても良いように思うけど、寂しい面もあるかな。

S: そうね。

R: それはさどこのようなプロと私見たいな「お人よしボランティア」との違いかもね。

ぽ: お人よし？おねこよし？それがボランティアの意味？

S: ロニーがこの間、ポータルに書いていたけど、「与える」ことではなくて、「一緒にすること」が大事だと思うね。それを読んで、ポーポキ友情物語活動の意味がしっくりきた。コミュニケーションがとても大事だと思う。医療関係者の場合、現地の人には被災しながら医療の仕事をしているし、避難所にいる人たちは今は「被災者」であっても、アイデンティティは



それだけではない。

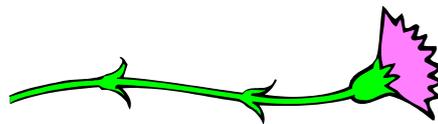
私たちは、知識やトレーニングがあるので、アドバイスはできる。でも、私たちはずっとそこにいて、一緒に暮らしているわけではない。結局は、現地の専門家や患者さんたちが解決に向けてどう動くかを決めるのね。お手伝いはしたいけど、被災者ひとりひとりが決めるんだね。被災者は今、弱い立場にいるかもしれないけど、人間として弱いとは思わない。

R: 私はボランティアすることでより強い人になれると思うね。与えることより与えられることが多い。今回、再確認できたことは、いろいろなタイプのボランティアが必要。私の「なにか」～年齢とかジェンダーとかバックグラウンド～に興味を持って



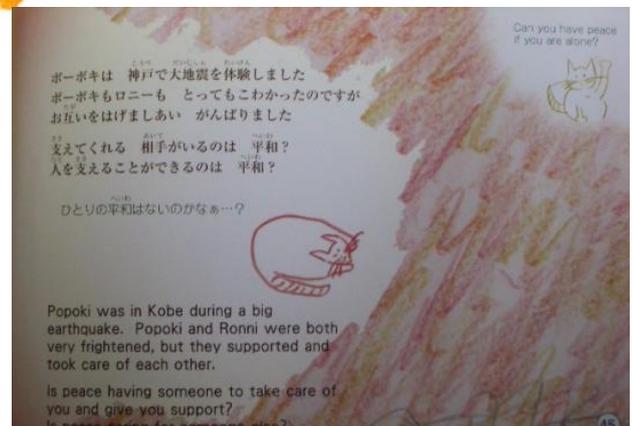
くれた被災者がいたからお互いに心を開くことができた。今回、ボランティアバスの一人一人が被災者の方々と心が通じたが、それらの体験はみんな違う。人によって提供できるものは違うからこそ、みんなが必要。「被災者」を一枚岩的に考えがちだが、本当は多様なニーズや関心がある。「お人よし」や「おねこよし」だけでは必ずしも「良いボランティア」になるとは限らない。「お人よし」・「おねこよし」のやさしさと、自分の思い込みではなく、相手の話に耳を傾けることができることは「良いボランティア」に必要なかもね。

ぽ: 今日はありがとうございました。



友だちになろう!
Let's be friends!

一日も早く生活が安定し、平和になるように祈っています。



「ポーポキ、平和って、なに色?ポーポキのピース・ブック!」より



「ポーポキ友情物語」プロジェクト!!!

被災地においても世界のどこにも、あなたのとなりにも強く生きている人や悲しんでいる人、たくさんの問題を抱えている人、喜んでいる人、さまざまな人がいます。ポーポキは、長い布でみんなをつなごうとしています。悲しみや喜び、しんどさを互いに伝え、共有し、一緒に歩むことが目的です。一方的になにかを与えるのではなく、お互いを支え合いながら明日に向かって一步一步あゆみたいからです。布：幅90cmの半分(45cm)x数メートル(切った所はほつれない様にかがる。端はつなぐのでそのまま)。布をつないでどんどん長くする。布の種類は綿ブロード。今は薄い白に近いピンクをつかっている。マジックで絵を描いてもらう。内容は自由。もちろん、ポーポキは大歓迎ですが、ポーポキのお友だちを描いてもうれしいです。大事な人や動物の絵ももちろん。それぞれの絵の物語は、私たちをつなぎ、友情を育みます。震災の体験、亡くなられた友人や動物、大切な人、新しく咲いた花……。それらはすべて私たちの「今」を表すものです。

描いた後はどうするの???いろいろなところでできた布をつなぎます。長い、長いバナーをつかって、描いてくれた人が自らの絵を探すことができ、他の人の絵を楽しめるように展示します。ネット上の展示、展示スペースでの展示。このプロジェクトに参加した方々の回りの展示場も。

ロニーがはじめた布は、次のリンクで見ることができます。

<http://www.youtube.com/watch?v=gpCi2FcV5Rw>



幅 45cm

(長さは自由・つないで長くする)

素材：綿ブロード。白に近い薄いピンク。

(色の選択は自由です。)

あなたも周りの人と布をつくってみませんか？詳しくはポーポキにメール

(popokipeace(at)gmail(dot)com) へ。最初にロニーのポーポキの絵が必要な方にはロニーがよろこんで描きます。



<http://popoki.cruisejapan.com>
[popokipeace \(at\) gmail \(dot\) com](mailto:popokipeace(at)gmail(dot)com)

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 35

今月のポガのテーマは肩のリラックス！楽になるといいですね！



1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. さて、座ったまま、肩に力を入れながら耳まであげて・・・そして力を抜く！
3. 今度は、肩をうしろへ大きくまわしてみよう！！・・・。
4. そして前へ・・・。
5. できた！できた！できたポーズをどうぞ！

第35回目のポガ・レッスンはこれで終わります。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？

次回のポ一会 2011.5.16(月) 神戸YMCA 306 19:00～

- 5.2-5 ポーポキ友情物語 in 岩手県
- 5.7-8 ポーポキ友情物語 at 神戸YMCA125周年記念イベント
- 5.14-15 ポーポキ at IPE 関西フォーラムイベント (ポーポキ友情物語も！) 京都教育大学 13:30～ (ポーポキとロニーは初日)
- 6.4 ポーポキ友情物語 in 新潟！？！
- 6.5 灘チャレンジ！お祭りでポーポキは模擬店とステージの予定。スタッフ募集中
- 6.11 大阪市西成区子どもの里で読み聞かせプログラム
- 7.24 とさぼりYMCA サマーセミナー2011 10:30-12:30 ワークショップ
- 9月 ポーポキ in グアム！？！
- 9月～10月 「Remembering Hiroshima Imagining Peace 2011」参加 (米国・日本メディア！？！で交流)
- 10月・11月 「ピース&ヘルス・マップ」ポートアイランド・下見などの準備と実施 (予定)

夏～秋 ポーポキの被災地支援プログラム！！！！

ポーポキ in メディア

ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- ・ R. Alexander. (2010) "The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
 - ・ 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
 - ・ No.1 『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの (連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
 - ・ 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
 - ・ 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
 - ・ [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- ・ FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
 - ・ "Human Rights, Popoki and Bare Life." *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
 - ・ 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
 - ・ 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
 - ・ 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
 - ・ 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
 - ・ 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
 - ・ 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
 - ・ 「友情を考えて～人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
 - ・ 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
 - ・ 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
 - ・ 「ポーポキ、平和ってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
 - ・ 「ポーポキ、ゴミってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
 - ・ 「友だちになってくれませんか?」RST/ALN 2009.2.22
 - ・ ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくれました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組 CH の 6CH をクリック。
 - ・ やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
 - ・ 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
 - ・ 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
 - ・ 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8. 10 面
 - ・ 「社説 終戦の日」神戸新聞 2008. 8. 15
 - ・ 中国新聞「核廃絶への視点」2008. 7. 27 (核抑止論について……。3時間!?!にわたる取材で一生懸命にポーポキのことを話したのに……。)





私にとってのポーポキ

廣瀬献児



春になると、たくさんの生き物とお話が盛んになります。子育てにやってきたツバメや、花を巡る蜂たち、土なかをもぞもぞ動き出したイモムシ、みんなそれぞれに私といろいろなお話をしてくれます。命のこと、生活すること、子育て、食べること、いろんなことを教えてくれたり、ときには叱ってくれたり。私はそれとなく伝わってくるみんなの想いに平和を感じます。そのなかでもポーポキは、なんと感情が豊かなことでしょう！ 喜びながら、お懲りながら、泣きながら、笑いながら・・・
そんな風に感情を思いっきり表現する平和と一緒に感じてくれたのはポーポキでした。

ポーポキとの出会いは、野原で座っていると脇の下からひょこっと出てきたような、ずっと近くに来て、ふと気づいたような、そんなおだやかな出会いでした。
ポーポキは私の友達の中でははずかしがりやさんなのかもしれません。

YMCA のボランティアを通じてポーポキと出会ってそろそろ1年がたちます。私はボランティアリーダーの仲間とはずっと古くから知り合っていた、家族や親友のような特別な気持ちを感じます。それは多分仲間と活動していることが、一緒に笑ったり、支え合うこと、励ましあうこと、時には一緒に泣いたりするような、平和にとって大切なことにつながっているからだと思います。その気持ちはポーポキでも一緒、ずっと仲良くできたらいいな。



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の蘭をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。

